

第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

市町村名	大野市
所属名	健康長寿課

※「介護保険事業（支援）計画の進捗管理の手引き（平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課）」の自己評価シートをもとに作成

第9期介護保険事業計画に記載の内容				R7年度（年度末実績）		
区分	現状と課題	第9期における 具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	課題と対応策
①	・閉じこもりがちな高齢者が増加しており、交流の場の必要性が高まっている。 ・社会参加を促し、健康づくりなどの介護予防が行える身近な場所の確保が必要。	・ふれあいサロンの実施	ふれあいサロンの実施箇所及び参加人数 R6 R7 R8 ・実施箇所(箇所) 70 70 70 ・延べ参加人数 13,860 13,860 13,860 (人)	・実施箇所数 60箇所 ・延べ参加人数 11,348人 (参考:その他の通いの場) ・実施箇所数 23箇所	○	・サロンの運営について、参加者・運営側スタッフの高齢化により継続実施が難しくなっているため、継続実施できるよう人材育成や補助金等の運営支援を継続していく。 ・高齢者サロンだけでなく、身近な通いの場づくりを推進し、介護予防につなげられるようにしていく。
①	・認知症の方やその家族が地域で自分らしく暮らし続けられるよう、正しい知識の普及と理解を深める必要がある。	・認知症サポーター等養成事業の実施 ・認知症カフェの実施	認知症サポーター等養成事業 R6 R7 R8 ・延べ参加人数 180 180 180 (人) 認知症カフェ R6 R7 R8 ・延べ参加人数 450 450 450 (人)	・認知症サポーター等養成事業 延べ参加人数 217人 ・認知症カフェ 延べ参加人数 803人	○	・認知症予防と早期発見・早期対応を図るため、地域での見守りや相談体制など認知症の方とその家族への支援体制を強化すると共に、認知症の普及啓発を推進していく。
②	・ケアマネジメントについて、事業所内外でのケース検討は行っているが、利用者の自立支援に資するケアプランの作成や困難事例への対応に苦慮している。	・地域ケア会議の推進 ・ケアプラン点検を実施	ケアプラン点検数 (R6) (R7) (R8) 40 40 40	ケアプラン点検数 24 件	○	事業所の負担軽減の観点から点検事業所を半数とし、ケアマネ1人あたり1件のプランを点検した。事業所に所属するケアマネの人数により点検数が増減するため、目標に達してはいないが、今年度点検対象のプランは全て地域包括支援センター職員が点検しスキル向上を図った。利用者の状態に適したサービスが提供されるよう、引き続き、市職員によるケアプラン点検を実施する必要がある。